

## 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 清水町内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校数：小学校2校・実施児童数55名、中学校2校・実施生徒数59名

### ○ 実技に関する調査の状況

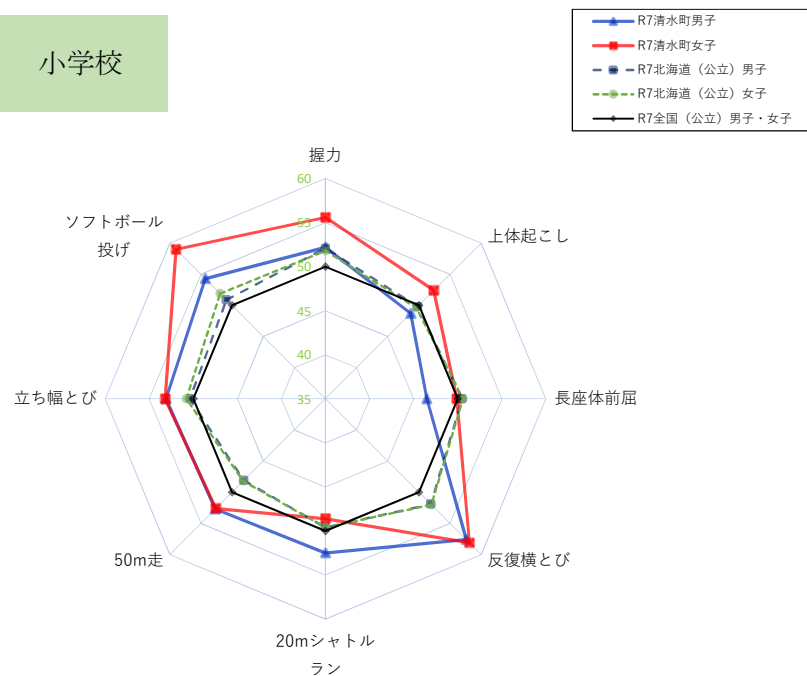
・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)	体力合計点
R7清水町男子	16.81	18.64	30.74	47.33	53.27	9.16	158.75	24.63	56.36
R7清水町女子	17.71	19.73	38.09	44.82	34.68	9.51	150.05	17.41	58.05
R7北海道(公立)男子	16.76	19.33	34.37	42.49	47.16	9.67	152.02	21.85	53.6
R7北海道(公立)女子	16.29	18.12	38.71	40.25	36.13	9.95	144.25	14.04	54.61
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.7	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

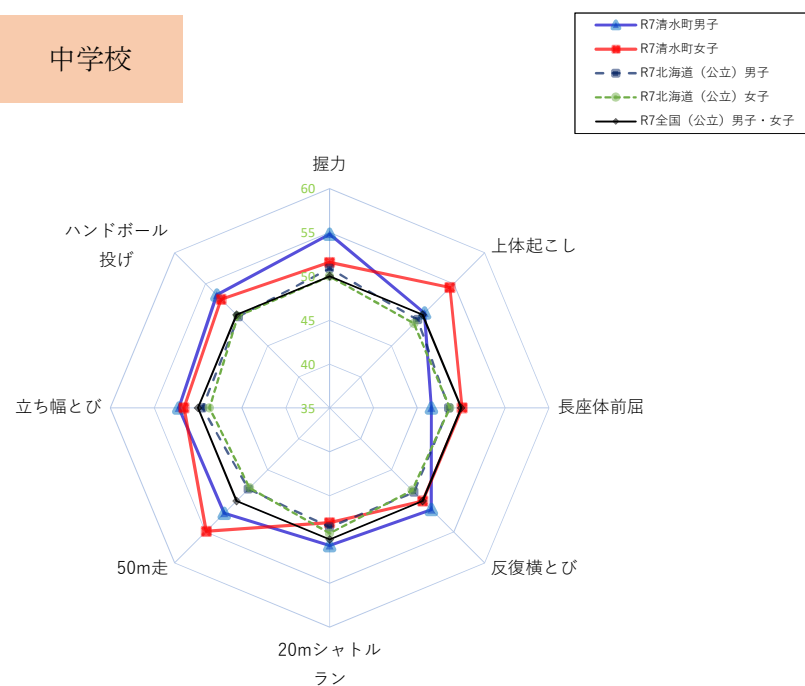
中学校	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)	体力合計点
R7清水町男子	32.45	26.29	41.29	52.97	80.63	7.75	204.83	22.78	44
R7清水町女子	23.94	24.35	47.1	45.73	49.28	8.52	171	13.54	50.76
R7北海道(公立)男子	29.63	25.61	43.58	50.36	75.24	8.17	195.81	20.57	41.05
R7北海道(公立)女子	23.17	20.85	45.62	44.4	46.84	9.16	162.75	12.34	45.62
R7全国(公立)男子	29.85	26.09	45.12	51.64	78.82	8	195.51	20.74	42.2
R7全国(公立)女子	23.17	21.7	46.99	45.74	50.6	8.97	166.44	12.43	47.58

・各種目の全国平均値を50とした場合(T得点)の全道及び清水町の状況をレーダーチャートで表示

小学校



中学校

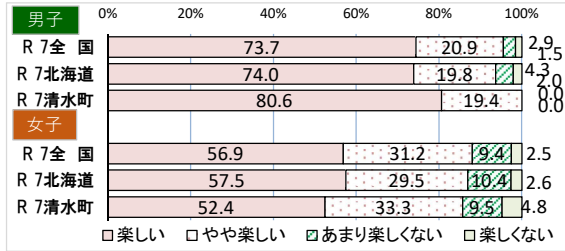


## ○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

### 小学校

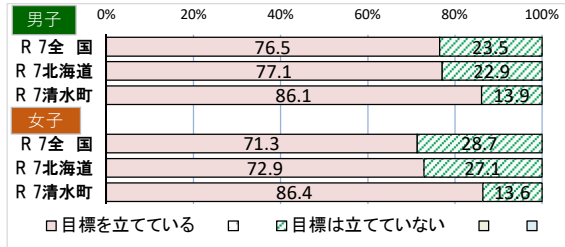
#### 【児童質問調査】

・体育の授業は楽しいですか



#### 【児童質問調査】

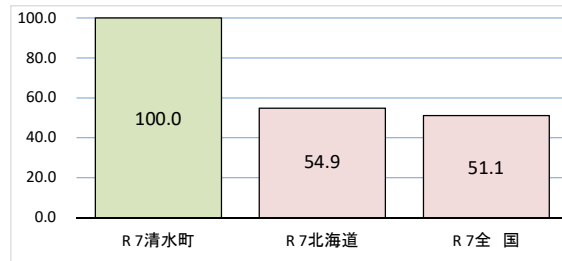
・体力・運動能力向上の目標



#### 【学校質問調査】

体育の授業の中で動きのポイントなどの知識を理解させること

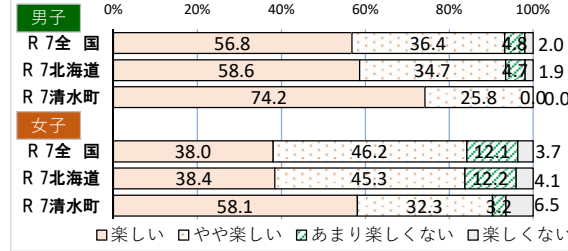
### 小学校



### 中学校

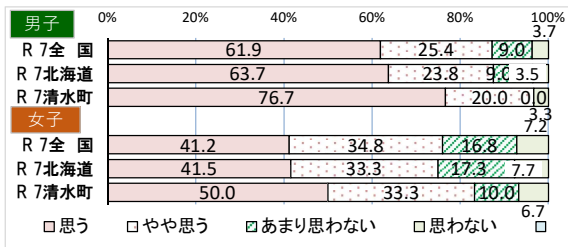
#### 【生徒質問調査】

・保健体育の授業は楽しいですか



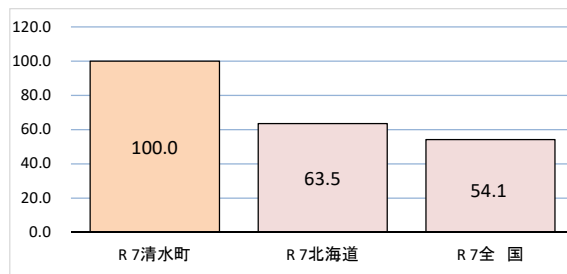
#### 【生徒質問調査】

・中学校卒業後、自主的に運動したい



### 中学校

保健体育の授業で「苦手意識を持たせないこと」を大切にしている



## ■ 調査結果の分析

### 小学校

#### 【成果】

・体育授業において、体を動かすことの楽しさを実感させることを大切にし、運動に対する意欲を高めたことによって、児童それぞれの「体力・運動能力向上の目標を立てる」と回答した児童が全国・全道よりも大きく上回った。「体育の授業で、進んで学習に参加している」と回答している児童の割合が全国・全道を上回ったと考えられる。

#### 【課題】

・一方で「中学校でも保健体育以外の授業で運動をしたいか」という設問に対しては、全国・全道より下回った。「運動は体育の授業」として捉えるのではなく、運動する機会の拡充を図るために、学校や家庭で児童自ら進んで運動するように呼びかけていく必要がある。

### 中学校

#### 【成果】

・「保健体育の授業が楽しい」と回答する生徒が全国・全道より大きく上回った。また、中学校の保健体育の授業において、技術的指導のみならず、運動することの大切さや仲間と協力する喜び、目標に向かって挑戦する姿勢を育む指導を行ったことにより、「中学校卒業後、自主的に運動したい」と回答する生徒が全国・全道より大きく上回ったと考えられる。

#### 【課題】

・意欲の向上が見られる一方で、運動に対する苦手意識を完全には解消できていない生徒もいる。すべての生徒が成功体験を積み重ねられるよう、生徒個人に応じた指導や評価方法のさらなる工夫が求められる。

## ■ 清水町の体力向上に向けた改善方策

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上に関する指導の充実
- ・各学校における特色ある体力づくり活動の実施による、運動習慣の定着に向けた取組の推進
- ・普段の体育の授業を通じて、引き続き運動の楽しさや大切さを伝える。